資料１－２

議題１　「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を踏まえた対応について（名古屋市提出）

市名	回答				
	（2）①現状の備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）について	（2）②取組指針を踏まえ、備蓄品目を追加・拡充する予定の有無	予定がある場合 備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）、考え方	（3）取組指針を踏まえた対応を推進するにあたって、愛知県等に対して支援等を求める考えの有無	有の場合 求める支援等の内容について
名古屋市	食糧1,786,100食、毛布352,700枚、飲料水623,448本、間仕切り1,000セット避難所、庁舎、民間借り上げ倉庫に分散備蓄している。	有	令和8年度中に、想定される避難者のうち、要配慮者分の簡易ベッド及びパーティションを新たに14,200基ずつ配備することを検討している。保管場所は主要な避難所である小中学校や収容人数200以上の大規模な避難所を予定し、バックアップ分として庁舎、民間借り上げ倉庫に分散備蓄を検討している。	有	補助金のさらなる拡充などの財源支援や、避難所運営に関する愛知県職員の協力を求めたい。 その他、財源確保以外の県としての支援や避難所に避難する人を減らすことに繋がるような対応について検討いただきたいと考える。
豊橋市	間仕切り段ボール90セット（９００部屋分）、段ボールベッド16台、折り畳み式簡易ベッド497台、保護テント1,594張、災害用簡易トイレ902台、ラップポン15台　等 その他備蓄品は豊橋市地域防災計画Ｐ161、162を参照。 第1指定避難所、第２指定避難所、各防災倉庫、福祉避難所、庁舎等に分散して備蓄している。	有	R6補正予算（R7繰越）により災害用組立トランク型手動ラップ式トイレを290台購入し、はスフィア基準である50：1を満たすよう整備している。また、同補助金を活用し、福祉避難所へ災害用組立トランク型手動ラップ式トイレ42台整備するほか、段ボールベッドも約250台整備する。	有	平時は財政的な支援を、発災時には飲食料、生活用品等の物資支援を求める。
岡崎市	主な備蓄品としては、ビスケット126,240食、アルファ米64,950食、保存水（2L）12,984本、パーテーション枚、エアーマット8,316枚、トイレ処理セット88,750回分等。 避難所、庁舎に分散備蓄している。	無		有	補助金のさらなる拡充や、避難所運営に関する愛知県職員の協力、避難物資の支援を求めたい。 市の備蓄品を備蓄するスペースを県有施設に設けてほしい。
一宮市	ビスケット96,600食、アルファ化米16,150食、福祉避難所用米10,000食、飲料水24,000本、間仕切り630セットを避難所の備蓄倉庫や民間借り上げ倉庫に分散備蓄している。	有	令和7年中に簡易ベッド及びパーティションを新たに2,000基ずつを購入するため入札手続き中。指定避難所である小中学校及び防災倉庫へ保管予定。	有	補助金のさらなる拡充などの財源支援
瀬戸市	瀬戸市備蓄計画（市HP掲載。URL：https://www.city.seto.aichi.jp/docs/2019/12/11/00054/）をご覧ください。	有	段ボールベッド及びエアーマット一式675組、パーティション540個、自動ラップ式トイレ及びトイレ用テント一式54組、簡易トイレ及びトイレ用テント一式81組 また、新しい倉庫を市有地に建設予定。	無	
半田市	アルファ化米90,000食、パン45,000食、ゼリー1,120食、飲料水126,000L、液体ミルク1,008本、液体ハミガキ108,800本、子ども用おむつ5,664枚、大人用おむつ4,500枚、生理用品10,320枚、便収納袋180,000枚、段ボールトイレ951個、手指衛生剤566L、段ボールベッド177台、段ボール間仕切り810セット　等 避難所、拠点倉庫に分散備蓄している。	無		無	
春日井市	別紙のとおり	無		有	補助金のさらなる拡充などの財政支援を求めたい。
豊川市	アルファ化米39,200食、ビスケット9,840食、ようかん9,840食、飲料水29,400本　等 市内４か所の拠点倉庫および小中学校の防災倉庫、市防災センターに備蓄している。	有	避難所用として、令和７年度中にパーテーション755台、簡易ベッド1510台を備蓄予定。市内４か所の拠点倉庫に備蓄する。	無	

議題１　「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を踏まえた対応について（名古屋市提出）

市名	回答				
	（2）①現状の備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）について	（2）②取組指針を踏まえ、備蓄品目を追加・拡充する予定の有無	予定がある場合 備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）、考え方	（3）取組指針を踏まえた対応を推進するにあたって、愛知県等に対して支援等を求める考えの有無	有の場合 求める支援等の内容について
津　島　市	別表のとおり、避難所となる学校のほか公共施設などで分散備蓄している。	有	検討中	有	補助金等の財源支援
碧　南　市	現在簡易ベッドについては１０基が各避難所の資機材倉庫にて配備されている。 取組指針にて求められているエアーベッド及び避難者用テントについては令和７、８年の２か年で全避難所に設置予定。設置場所については、基本的には避難所にて保管するが場所の確保が難しい場合は危機管理課所管の市内に４箇所ある防災倉庫や、民間借り上げ倉庫にて分散保管を予定している。	有	令和７年度中に、体育館等の収容者数の多い避難所にテント及びエアーベッドの配備を検討している。令和８年度は公民館等の収容人数の少ない避難所に同様の資機材を配備予定。 テントについては２年で３３５基を購入予定 エアベッドについては２年で６７０枚を購入予定	有	補助金のさらなる拡充などの財源支援や、避難所運営に関する愛知県職員の協力を求めたい。
刈　谷　市	刈谷市では現在、例えば、保存水124,920本や、簡易トイレ1,009基、簡易ベッド1,548台、段ボールパーティション2,553組等の備蓄をしており、避難所防災倉庫や拠点防災倉庫に保管しております。	有	令和7年度中に、ラップポントイレ及び蓄電池の新規配備、携帯トイレの追加配備を実施する予定。	有	補助金のさらなる拡充などの財源支援や、避難所運営に関する愛知県職員の協力を求めたい。
豊　田　市	食料約170,000食、飲料水約170,000本、間仕切り約1200室、段ボールベッド約800個等を、指定避難所、交流館等の市が設置した倉庫へ分散して備蓄	無（※）	（※）今年度実施する市の被害予測調査を基に見直しを行うため、現時点では備蓄品目の追加・拡充については未定	有	新たな取組指針に対応した計画の見直し・対応方法についての支援・協力
安　城　市	クラッカー16,660食、ライスクッキー34,752食、カレーライス8,510食、カレーうどん8,100食、アルファ化米63,800食、飲料水（500ｍｌ換算）141,648本、パーティション1,038基、プライベートルーム486基、エアーベッド6,563個、簡易ベッド223台 避難所防災倉庫、拠点防災倉庫に分散備蓄している。	無		無	
西　尾　市	別添の「現状の備蓄品目、数量、保管場所」を参照してください。	無		無	
蒲　郡　市	アルファ化米28,700食、ライスクッキー21,600食、飲料水55,680本 間仕切り1,476張、折り畳みベッド2,952台、トイレ袋89,200袋 以上の品を各避難所、庁舎、防災倉庫に分散備蓄している。	有	令和9年度までにトイレ袋を144,800枚、ウェットティッシュ151,200枚を配備する計画としている。	無	
犬　山　市	アルファ米70,624食、保存水82,502本、間仕切り278セット 避難所倉庫、市役所倉庫等に分散備蓄している。	無		有	補助金のさらなる拡充などの財源支援や、避難所運営に関する愛知県職員の協力を求めたい。
常　滑　市	段ボールパーテーション1,820枚、プラスチックパーテーション200枚、組立ベッド180台、大型テント5張、１人用テント120張、２人用テント340張 避難所、庁舎、旧事務所等に分散備蓄している。	有	令和７年度中に、指定避難所（市内11か所）にポータブル蓄電池28台、照明器具37台を導入予定である。	有	避難所運営に関する愛知県職員の応援
江　南　市	アルファ化米23,400食、飲料水500ｍｌ　20,232本、簡易ベッド367個、間仕切り460セット 各避難所の防災倉庫に分散備蓄している。	無		有	補助金のさらなる拡充 避難所運営に関する県の協力

議題１　「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を踏まえた対応について（名古屋市提出）

市名	回答				
	（2）①現状の備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）について	（2）②取組指針を踏まえ、備蓄品目を追加・拡充する予定の有無	予定がある場合 備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）、考え方	（3）取組指針を踏まえた対応を推進するにあたって、愛知県等に対して支援等を求める考えの有無	有の場合 求める支援等の内容について
小　牧　市	保存水3,648ℓ、アルファ米27,000食（内500食は透析患者用）、ライスクッキー27,120食、玄米スナック27,000食、粉ミルク98缶、液体ミルク288缶、敷マット7,910枚、簡易トイレ用便収納袋51,800枚、簡易トイレ用圧縮保管袋2,590枚、トイレットペーパー4,592枚、大人用おむつ2,340個、子ども用おむつ、女性用生理用品5,030個、赤ちゃん用哺乳瓶2,470個、サージカルマスク53,764枚（内20,000枚は新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ等対策用）、アルコール手指消毒液604ℓ（内300ℓは新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ等対策用）、次亜塩素酸ナトリウム1.800㎖、ビニール袋16,000枚、フェイスシールド2,000枚、感染防止衣1,560枚、非接触型体温計55個、水槽タンク(500ℓ)78個、移動式炊飯器50個、応急炊具箱40組、カセットコンロ120台、多人数用救急箱42個、発電機78台、投光器50セット、強力ライト100個、間仕切りボード1,340セット、ワンタッチパーテーション277張、プライベートルームテント60張、ハンドマイク45個、スコップ460本、バケツ840個、ブルーシート800枚 避難所、庁舎、市管理倉庫に分散備蓄している。	無	市保有の備蓄品のうち足りないものは協定を活用して確保していく。	無	
稲　沢　市	パーテーション1074台、段ボールパーテーション167枚、段ボールベッド３０台 避難所、市役所倉庫に備蓄している。	有	令和７年度から令和１０年度にかけて、パーテーションを新たに１０５５台購入することを検討している。保管場所は避難所である小中学校や体育館等の倉庫に分散備蓄を検討している。	無	
新　城　市	食料等　：アルファ米10500食、レトルト10000食、パン缶4488食ビスケット4944食、飲料水18642本 テント等：プライベートテント179張、パーテーション114張、簡易間仕切り1685枚 寝具等：段ボールベッド52セット、エアベッド４０７セット、折り畳みベッド12セット、簡易ベッド1143床 上記の資材等を庁舎（支所）、備蓄倉庫等、避難所に分散し備蓄している。	無		有	財源支援
東　海　市	段ボールベッド、段ボール間仕切り1,300セット、食料（アルファ化米67,500食、パン31,032食、クラッカー48,540食、野菜ジュース85,900本）、飲料水23,736本 避難所、中央防災倉庫に分散備蓄している。 避難所、庁舎、民間借り上げ倉庫に分散備蓄している。	無		無	
大　府　市	間仕切り3860枚、簡易ベッド140個、飲料水23,052リットル、アルファ米25,950食、ビスケット90,540食、パン6,924食等を各避難所の備蓄倉庫、中央防災倉庫に分散備蓄している。	有	本年度にテント式パーテーションを各避難所に40個、炊き出しセットを市内小中学校の指定避難所に配備予定。	有	補助金の更なる拡充を求めたい。
知　多　市	別添のとおり	無		有	避難所運営に関する愛知県職員の協力を求めたい。
知　立　市	間仕切りセット５０個、ワンタッチパーテーション１２５箱、段ボールパーテーション２６０個 折りたたみベッド８台、エアマット７４０個、段ボールベッド１３２個、テント１７組 避難所、庁舎の各防災倉庫に備蓄している。	無		有	補助金のさらなる拡充などの財源支援

議題１　「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を踏まえた対応について（名古屋市提出）

市名	回答				
	（2）①現状の備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）について	（2）②取組指針を踏まえ、備蓄品目を追加・拡充する予定の有無	予定がある場合 備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）、考え方	（3）取組指針を踏まえた対応を推進するにあたって、愛知県等に対して支援等を求める考えの有無	有の場合 求める支援等の内容について
尾張旭市	飲料水32,904L、アルファ化米47,000食、ビスケット4,560食、クラッカー9,360食、カロリーメイト18,960食、ライスクッキー6,912食、避難所用間仕切り860組、段ボールベッド492台などを地域防災倉庫及び校区防災倉庫に分散備蓄している。	有	令和７年度に新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し、1次避難所である小中学校と福祉避難所で不足する段ボールベッドやナイロン製間仕切等の整備を予定している。	有	・補助金のさらなる拡充などの財源支援の協力を求めたい。 ・ナイロン製間仕切りや段ボールベッドなどの資機材を備蓄してほしい。
高浜市	アルファ米49,200食、クラッカー13,440食、缶入りパン3,336食、羊羹5,760食、保存水（2013,512本、1.50530本）、野菜ジュース4,860本、乳児用ミルク3,104食、パーテーション・間仕切り等1,402基、簡易組み立てベッド1,182基、毛布4,110枚、ブルーシート228枚、簡易トイレ・マンホールトイレ等293基、その他（カセットコンロ、発電機、蓄電池、紙食器、乾電池、マスク等感染対策用品、生理用品、子供用おむつ、大人用おむつ、ウエットティッシュ等）。基本的に、食料品は市内の3箇所の備蓄倉庫へ保管、避難所用の資機材は避難所敷地内に設置してある倉庫へ保管。	無		有	財源支援。
岩倉市	アルファ米31500食・白がゆ5000食・カロリーメイト4080食・ライスクッキー480食・飲料水12000本　　パーテーション270・簡易ベッド60・ダンボールベッド60 庁舎・市内備蓄倉庫・市内小学校に分散して備蓄している。	無		有	実際に避難生活を経験した方にどのようなことが必要で、何が一番不便で困ったのかなど、経験者の方アドバイスを頂きたい。
豊明市	備蓄品目、数量は別紙のとおり。 各避難所、市備蓄倉庫に分散備蓄している。	無		無	
日進市	アルファ化米1,600食、ライスクッキー2,112食、飲料水2,616本 避難所、市役所等に分散備蓄している。 （https://www.city.nisshin.lg.jp/department/soumu/bousai/5/2/2/hinanjo/5193.html そのほかの備蓄状況はこちらに載せています。）	有	令和7年度からに、想定される避難者のうち、要配慮者分の簡易ベッド及びパーティションを段階的に配備することを検討している。	有	補助金のさらなる拡充などの財源支援を求めたい。
田原市	備蓄食料167,000食、保存水（ペットボトル）22,000ℓ、段ボール間仕切り202セット、プラ間仕切り92セット、テント間仕切り80台、簡易ベッド115台、エアーマット1,100枚 避難所、備蓄拠点、防災備蓄倉庫に分散備蓄している。	有	令和9年度までに簡易ベッド計88台を日本赤十字社から提供を受け、避難所へ分散備蓄する。 現状、保管場所不足のため、他品目の追加予定はなし。小中学校の遊休スペース調査を行い、保管場所の確保を優先的に進めている。	有	保管場所の確保・資機材の管理をするための支援（倉庫新設に対する補助、管理方法の提案など）
愛西市	飲料水：63,456本　フリーズドライ食品：89,250食　アルファ米：30,650食 ビスケット：6,336個　えいようかん：5,100袋　間仕切りボード：262セット 市役所、支所、コミュニティセンター、民間指定避難所に分散して備蓄している。	有	南海トラフ地震等対策事業費補助金を活用して備蓄品の入替えを実施していく計画です。	有	補助金のさらなる拡充など、財源支援をお願いしたい。

議題１　「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を踏まえた対応について（名古屋市提出）

市名	回答				
	（2）①現状の備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）について	（2）②取組指針を踏まえ、備蓄品目を追加・拡充する予定の有無	予定がある場合 備蓄品目、数量、保管場所（避難所倉庫・市役所倉庫・賃貸借の民間倉庫など）、考え方	（3）取組指針を踏まえた対応を推進するにあたって、愛知県等に対して支援等を求める考えの有無	有の場合 求める支援等の内容について
清　須　市	クラッカー52,500食、ビスコ24,600食、おこげ10,800食、おかゆ11,840食、飲料水17,280本、毛布15,612枚、液体ミルク720缶、携帯トイレ13,200回分、エアーベッド850台、簡易ベッド85台、多目的テント44張、ワンタッチテント85張、段ボール間仕切り200セット 避難所、庁舎、防災備蓄倉庫等に分散備蓄している。	無		無	
北名古屋市	難燃性タオルケット850枚、段ボールベッド880個、クラッカー3,500食、避難所用アルミマット272枚、避難所用間仕切り・段ボール畳170個、避難所用間仕切りテント136個等 保管場所：市が保有する東西防災倉庫、各小中学校防災倉庫、公共施設等	有	令和７年度に新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用して、市内中学校に防災倉庫を設置し、段ボールベッドや簡易トイレ等を拡充する予定である。	有	防災備蓄食料の購入に係る補助
弥　富　市	アルファ化米30,550食、クラッカー27,230食、飲料水240,000リットル、簡易仮設トイレ533基、便袋36,000枚、ワンタッチパーテーション430張、段ボールベッド101台を避難所、庁舎、防災倉庫に分散備蓄している。段ボールベッドや段ボールパーテーションについては、災害協定により発災後に供給される予定。	無		有	補助金のさらなる拡充などの財源支援を求めたい。
みよし市	アルファ米34,150食、飲料水27,552本、簡易テント1,730個 防災備蓄倉庫、避難所に備蓄している。	無		有	補助金の拡充などの財源支援を求めたい。
あ　ま　市	主な備蓄　ビスケット類38,580食、アルファ米53,350食、調理不要ご飯17,030食、粉ミルク2,400食、発電機58台、投光器40台、避難所用テント957張り、ベッド1,272台、簡易トイレ672個、凝固剤999個など 各避難所、防災倉庫に分散備蓄をしている。	有	令和8年度までに、想定される避難者数に対してベッド、テントの備蓄計画を再考し最終的には各避難所に配備予定。	有	新しい地方創生交付金のような備蓄資機材に特化した補助金の拡充。
長久手市	【食料品】 アルファ米53,100食、缶パン3,788食、おかず類2,650食、豚汁2,260食、ビスケット類9,432食、粉ミルク（アレルギー用も含む）72箱、液体ミルク（1缶200ml）240缶、飲料水58,209本 【資機材】 ポップアップパーティション275張、アルミGIベッド292基、寝袋398個 【保管場所】 市内防災倉庫（3箇所）、避難所倉庫（小中学校）	有	現在、避難所倉庫（市内小中学校）には、ポップアップパーティション等の資機材のみ配備しているが、避難所開設後の運営を想定して、備蓄食料品も併せて一定数の配備の実施を検討している。	有	補助金のさらなる拡充などの財源支援